

白ネギの7月どり作型に適する品種と大苗育苗

1 はじめに

白ネギは、福井県全域で生産振興されている主力品目です。現在、県内産の7月の市場出荷は少なく、市場から出荷を強く求められています。雪解け後3月下旬～4月上旬稚苗定植では収穫の7月までに十分な生育量の確保ができません。そこで、福井県においても7月に安定的に収量を確保できるような品種と大苗育苗方法を紹介します。

2 栽培技術

(1) 7月どりに適する品種

白ネギ「ホワイトスター」、「夏扇パワー」、「群翠」、「MSI-856」を10月16日に1穴当たり1.5粒、2粒となるように播種し、無加温ガラス室で育苗しました。育苗期間中、くみあい液肥特2号の50倍液を、1回目：12月中旬、2回目：1月中旬、3回目：2月中旬、4回目：3月上旬、5回目：定植前3月下旬に、1箱2L/回施用しました。

収穫時の調製重は夏扇パワーが最も重くなり、可販収量も夏扇パワーが最も高くなりました(表2)。

以上より、10月中旬に播種することで、定植時期の3月下旬～4月上旬に葉鞘径が3.5mm以上の大苗を育成することができます。大苗を定植し、7月どりをとする作型は、収量およびL以上本数が多いことから、「夏扇パワー」が適しています。

表1 品種が苗の生育に及ぼす影響 (3月29日調査)

品種	草丈 (cm)	葉鞘径 (mm)	葉齢 (枚)
ホワイトスター	27.0	3.7	3.9
夏扇パワー	28.4	3.7	3.5
群翠	25.9	3.8	3.8
MSI-856	27.2	3.6	4.0

表2 品種が収量に及ぼす影響 (7月5日収穫)

品種	葉鞘長 (cm)	葉鞘径 (mm)	調製重 (g)	本数 (本/m)	可販収量 ² (kg/10a)	抽苔率 (%)	10a当たりの規格別本数			
							2L	L	M	S
ホワイトスター	27.3	20.6	132.6	31	2878	0	5,106 (24%)	16,594 (76%)	0 (0%)	0 (0%)
夏扇パワー	29.0	19.8	142.4	36	3589	0	9,164 (36%)	13,745 (55%)	2,291 (9%)	0 (0%)
群翠	26.1	18.3	118.3	30	2485	0	1,167 (6%)	14,000 (67%)	4,667 (22%)	1,167 (6%)
MSI-856	29.0	18.8	111.4	35	2729	0	2,333 (10%)	12,833 (52%)	7,000 (29%)	2,333 (10%)

²圃場利用率90%として換算

(2) 夏扇パワーの播種時期、播種粒数

白ネギ「夏扇パワー」を10月16日、11月1日、11月15日にチェーンポットCP303に、1穴当たり1.5粒、2粒となるように播種し、無加温ガラス室で育苗しました(写真1)。育苗期間中、くみあい液肥特2号の50倍液を上記同様に5回施用しました。

苗の生育は、播種日が早くなるほど葉鞘径が太くなり、1.5粒播種は2粒播種より葉鞘径が太くなりました(表3)。

収穫時の葉鞘径、葉鞘長および調製重は、播種日が早いほど大きくなりました。葉鞘径、調製重、L以上率は、2粒播種よりも1.5粒播種でやや大きくなる傾向が見られましたが、収穫本数は2粒播種した場合に多くなったため、可販収量は10月16日2粒播種で最も高くなりました(表4)。

以上より、10月中旬の2粒播種が葉鞘径3.5mm以上の大苗を育成することができ、収量およびL以上本数が多いことから、7月どり作型に適しています。

表3 播種時期・播種粒数が苗の生育に及ぼす影響
(3月29日調査)

播種日	播種粒数	草丈 (cm)	葉鞘径 (mm)	葉齢 (枚)
10/16	1.5粒	28.3	4.1	3.7
	2粒	28.4	3.7	3.5
11/1	1.5粒	24.7	3.6	3.0
	2粒	24.3	3.3	2.9
11/15	1.5粒	22.3	2.8	2.2
	2粒	22.6	2.7	2.2

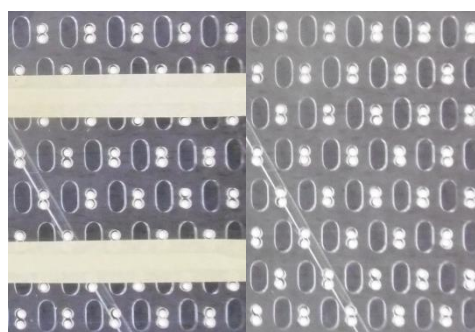


写真1 播種方法 (左 1.5粒、右 2粒)

表4 播種時期・播種粒数が収量に及ぼす影響 (7月5日収穫)

播種日	播種粒数	葉鞘長 (cm)	葉鞘径 (mm)	調製重 (g)	本数 (本/m)	可販収量 ² (kg/10a)	抽苔率 (%)	10a当たりの規格別本数			
								2L	L	M	S
10/16	1.5粒	28.8	21.3	167.6	25	2,933	0	14,000 (80%)	3,500 (20%)	0 (0%)	0 (0%)
	2粒	29.0	19.8	142.4	36	3,589	0	9,164 (36%)	13,745 (55%)	2,291 (9%)	0 (0%)
11/1	1.5粒	28.4	20.6	140.9	25	2,465	0	4,667 (27%)	10,500 (60%)	2,333 (13%)	0 (0%)
	2粒	27.3	19.4	130.7	31	2,836	0	5,711 (26%)	12,563 (58%)	3,426 (16%)	0 (0%)
11/15	1.5粒	27.5	20.6	156.3	26	2,844	0	10,238 (56%)	7,963 (44%)	0 (0%)	0 (0%)
	2粒	27.2	19.2	131.4	33	3,036	0	3,465 (15%)	18,480 (80%)	1,155 (5%)	0 (0%)

²圃場利用率90%として換算

[技術の活用および留意点]

白ネギの作型において、品種と大苗育苗の組合せをすることで、7月どり白ネギの収量およびL以上率が向上し、作期拡大および安定的な収量確保に繋がると期待されます。

[その他]

研究課題名：初夏どり白ネギの生産安定技術の開発

研究期間：平成28~30年度

研究担当者：農試 園研センター 野菜研究G 加藤里佳